

つなぐ



<現在の設立状況(29.4.1)>

まちづくり協議会	22(23 地区)
まちづくり協議会準備会	1(2 地区)

発行：松山市役所 市民参画まちづくり課 TEL:(089)948-6963 FAX:(089)934-3157

H P：http://www.city.matsuyama.ehime.jp/shisei/machizukuri/chiikicommunity/machidukuri.html

Vol.12

雄郡地区にある興聖寺は赤穂義士ゆかりの寺です。忠臣蔵で有名な赤穂事件の起きた毎年12月14日には「松山義士祭り」が行われています。今回はそれにちなみ、討ち入り前日の赤穂義士たちの様子を描いた物語「十二月十三日」が上演されました。



2月26日 雄郡地区まちづくり協議会主催の音楽と芝居の公演が行われました。前半はギターとマンドリン、ハーモニカの演奏、後半はザ・ゆうぐん一座の芝居「十二月十三日」が上演されました。地元の方を中心に150名の観客が訪れ、立ち見も出るほどの大盛況となりました。

途中、セリフに詰まったり舞台道具が壊れる場面もありましたが、そういった手作りならではのハプニングも含めて、地域の方は毎年楽しみにしているようです。

ザ・ゆうぐん一座は地区に住む30代〜70代の約30人で活動しており、舞台道具から脚本、演出、音響や照明まですべて手作りで公演を行っています。

今回で4回目の公演となったゆうぐん一座。今回も公演の4か月前から稽古や舞台道具の準備を行い、本番を迎えました。

当初は公民館の改築を記念した公演でしたが、大変好評だったため、以後、毎年の恒例行事として地域に笑いと感動を届けています。



最後に出演者全員であいさつをすると客席から花束と大きな拍手が送られました。



ギター・マンドリン・ハーモニカによる演奏では、童謡や歌謡曲の演奏もあり、観客の皆さんは美しい音色に聞き入っていました。

最後は「この街で」をハーモニカの音色にのせて会場全員で合唱しました。



劇中では本格的な殺陣も披露され会場からは歓声が上がりました。



夏目 漱石

1867年2月9日 東京都新宿区喜久井町に生まれる。本名は夏目金之助。

1905年に正岡子規の友人柳原極堂が創刊した雑誌「ホトトギス」に「吾輩は猫である」を発表し評判となる。

その後も「こころ」や「坊っちゃん」などの作品を発表する。

正岡子規とは大学時代に出会い友人となった。「漱石」という名前は子規が使っていたペンネームのひとつを譲り受けたもの。

俳誌「ホトトギス」

柳原極堂が友人である正岡子規の俳句革新を援助する目的で1897年に創刊した俳句雑誌。子規や高濱虚子、河東碧梧桐などが選者を務めた。明治時代には総合文芸誌として夏目漱石の「吾輩は猫である」「坊っちゃん」や伊藤佐千夫の「野菊の墓」などが掲載された。

八坂まち協 柳原極堂

生誕 150 年記念事業



2月18日(土)

八坂地区まちづくり協議会で地区ゆかりの人物、柳原極堂の生誕150年記念事業が行われました。

柳原極堂は正岡子規の松山中学時代からの友人で俳誌「ほととぎす」を創刊し子規の活動を支え、晩年は子規の功績を後世に伝えるために力を尽くしました。その功績により松山市最初の名誉市民にも選ばれています。

記念事業では記念碑への献花や極堂の生涯についての講演が行われ、地域ゆかりの先人の功績を讃えました。



子規・漱石生誕 150 周年

今年は松山にゆかりの深い正岡子規、夏目漱石の生誕150年の記念の年です。松山市でも様々な記念事業を予定しています。松山は多くの俳人や文化人とゆかりのあるまちで、市内各地に記念碑やゆかりのある建物など様々な文学遺構が残っています。

この機会に、各まち協でも地元ゆかりのある人物や場所を地域資源としてまちづくりに活用してみましよう。

写真俳句コンテスト
写真と俳句を組み合わせた新しい表現世界を創造するコンテストを行い、「俳都松山」の魅力を国内外に発信します。

子規・漱石・極堂
生誕150年記念式典
子規・漱石・極堂に詳しい著名人を招いての講演会などイベントを予定しています。

子規記念博物館での特別展
子規・漱石の友情や、柳原極堂など友人たちとの交流について、紹介しながら3人を顕彰します。

松山市の主な事業(予定)



松山と俳句

松山市には江戸、明治、昭和の三庵と呼ばれる俳人ゆかりの庵があります。江戸時代に栗田樗堂が暮らした庚申庵、明治時代に夏目漱石と正岡子規が共同生活を送った愚陀仏庵、昭和初期に放浪の末、松山にたどりついた種田山頭火の終の住処、一草庵があります。

石井まち協 句会ライブ



テレビなどでおなじみの夏井いづきさんによるユニークな指導に会場は大いに盛り上がりしました。



2月17日(金)

石井まち協主催の句会ライブが開催されました。会場の石井小学校には地元の方や小中学生など約800人が集まり、講師の俳人夏井いづきさんのユーモアあふれる解説を聞きながら俳句作りに挑戦しました。

石井地区まちづくり協議会では他にも地区内の道路に地域から応募のあった俳句を掲載する「俳句ロード」や入選した作品を紹介する俳句通信の発行など、俳句を使ったまちづくりに取り組んでいます。

松山には句碑がたくさん

松山市は多くの俳人にゆかりのある俳句のまちです。市内各所に句碑があり、まちづくり協議会で句碑を地域資源として活用している地区もあります。各まちづくり協議会で地区内の句碑を見つけて活用してみたいかでしょう？

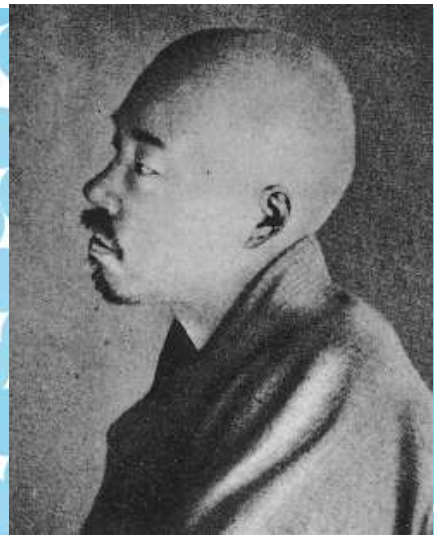


平和通りにある正岡子規の句碑。清水まち協ではまつやま子規の庭プロジェクトに協力して句碑に花を植えています。平和通りは句碑ストリートとなっており20の句碑があります。

雄郡神社にある正岡子規の句碑。雄郡まち協では解説看板を設置しました。かつて正岡子規が散策した道を「子規の歩いた道」として地区内にある3つの句碑に看板を整備しました。



北条鹿島にある渥美清さんの句碑。北条まち協では地元の方や北条出身の作家早坂暁さんに協力をしていただき、寅さんで有名な渥美清さんの句碑を整備しました。



正岡 子規

まちづくり基本計画

地域におけるまちづくりの基本理念や取り組むべき重点目標や方針、主な施策等を示すことにより今後の住民主体のまちづくりの方向性を示したもので、昨年度から地域におけるまちづくり推進委員会の中で計画の見直しを審議しました。

その結果を踏まえ、第2次松山市地域におけるまちづくり基本計画が策定されました。



推進委員会には委員としてまち協関係者以外にも大学生やNPO、一般公募で選ばれた方など様々な立場の方に参加いただき、審議を行いました。

重点目標

松山市では次の2点を地域におけるまちづくりの重点目標としました

◆住民自治の強化◆

従来の親交型の活動や課題解決型の活動に加え、地域経営に係る政策の形成、決定、実行に自ら進んで関わっていくという、新たな自治型のまちづくり活動を今後は一層強化していく必要があります。

◆多様な主体による公共の分担◆

まちづくりの主体は住民ですが、住民と行政がそれぞれの役割を分担し、相互に補完し合いながら、対等なパートナーとして認め合うことが重要です。



松山市では、市民とつくる自立したまちを目標にまちづくりを進めていきます。まちづくり協議会は大変なパートナーです。今後も様々な支援を行っていきます。



伊台地区まちづくり協議会設立総会

人口 6,063 人
世帯数 2,187 世帯
※H29.3.1 現在



白石 郁朗 会長

「まちづくりのビジョンには、伊台地区の活性化を図るため、活動していきます。」

3月10日伊台地区まちづくり協議会の設立総会が開催されました。松山市では22番目の協議会設立となります。伊台地区では地域団体のつながりの強さを生かし、設立と同時にまちづくり計画の策定も行いました。伊台地区の強みを生かしたまちづくりに取り組んでいきます。



Q 今後の抱負、目標を教えてください。
昨年、地区の実態調査を行ったので防災マップや史跡マップ等の作成に取り組みたいと考えています。また正岡子規散策の散策ルート「子規の足跡」を歩くなど、子規生誕150年に合わせた取り組みを行いたいと考えています。

Q まち協での取り組みや活動について
嬉しかったことを教えてください。
まち協では地域の各種団体と協力しながら、小学生との三世代交流や地域を紹介する紙芝居の作成、雄郡の花「サルビア」の普及に取り組んでいます。子どもたちと交流して笑顔を見たり、お礼状をもらうと、とても嬉しくなります。

Q 雄郡地区の魅力教えてください。
雄郡地区は市内中心部に近く、商工業地域と住宅地が混在する地域です。正岡子規の散策ルートである雄郡神社や毎年「義士祭り」が行われる興聖寺があり、竹原町、針田町では獅子舞が継承されていて、伝統文化や史跡の残るまちでもあります。

第10回 まちづくりで輝く人 地域で活躍している人を紹介します

退職を機に地元自治会の副会長を引き受けて以来、地域活動に関わっています。
私自身、地域に育てられたので地域のために何かできればと思います。地域活動に取り組んでいます。



雄郡地区まちづくり協議会
寺尾 英昭 総務企画部長